

# 農 研 速 報

2026年2月24日発行  
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
 TEL:0297-62-0206 FAX:0297-64-0667

麦の生育状況(2月19日現在、龍ヶ崎市)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速 (予測茎立期)	生育(作柄・品質)概況	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	11月14日播種 小麦 (さとのそら)	幼穂形成始期	2日遅い	龍ヶ崎市における、1月第6半旬～2月第3半旬の気象と麦類の生育概況は、下記のとおりである。 <b>【気象】</b> 気 温:平均気温は低かった(平年差 -1.1℃、図1)。 降 水 量:平年比 34%でかなり少なかった(図2)。 日照時間:平年比 96%で平年並であった(図3)。 <b>【生育】</b> 生育速度:予測茎立期は11月14日播種の小麦は2日遅く、六条大麦、二条大麦、裸麦では6～11日遅い。11月20日播種の小麦は1日遅い(表1)。 草 丈:11月14日播種の小麦、六条大麦、二条大麦、裸麦は平年並であった。11月20日播種の小麦は平年並であった(表2)。 茎 数:11月14日播種の小麦はかなり少なく、六条大麦は少ない～やや少なく、二条大麦、裸麦は平年並であった。11月20日播種の小麦はやや少なかった(表2)。 葉 色:11月14日播種の小麦、六条大麦、二条大麦、裸麦は平年並であった。11月20日播種の小麦は淡かった。(表2)。 写真1、2に2月19日現在の所内麦類の生育状況を示した。 <b>【注釈】</b> 1)対平年遅速は、主稈長から予測される茎立期をもとに算出した。	適期に効果的な追肥ができるよう、準備を始める。  ①生育量が不足している場合は、 <b>収量向上</b> 効果の高い「 <b>茎立期</b> 」に追肥する。  ②生育量が確保できている場合は、 <b>タンパク</b> や <b>千粒重</b> 向上効果の高い「 <b>出穂15日前(小麦)</b> 」「 <b>出穂期(六条大麦)</b> 」に追肥する。  ③生育量が過剰な場合は原則無追肥とする。  生育量は草丈(cm)×茎数(本/m <sup>2</sup> )を示す。小麦は40,000～60,000、六条大麦は30,000以上が適正值。
	六条大麦 (カシマムギ)	節間伸長始期	6日遅い		
	(カシマゴール)	節間伸長始期	10日遅い		
	二条大麦 (ミカモゴールド)	節間伸長始期	11日遅い		
	裸麦 (キラリモチ)	節間伸長始期	8日遅い		
11月20日播種 小麦 (さとのそら)	幼穂形成始期	1日遅い			

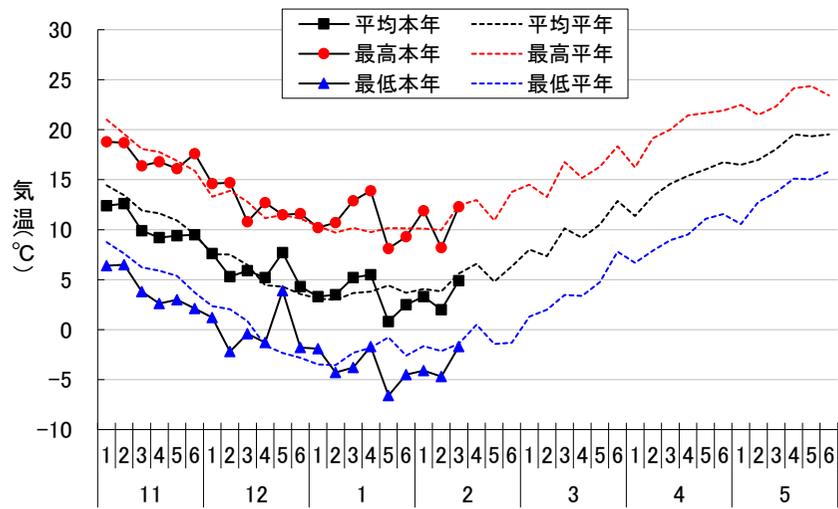


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)  
 注)水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

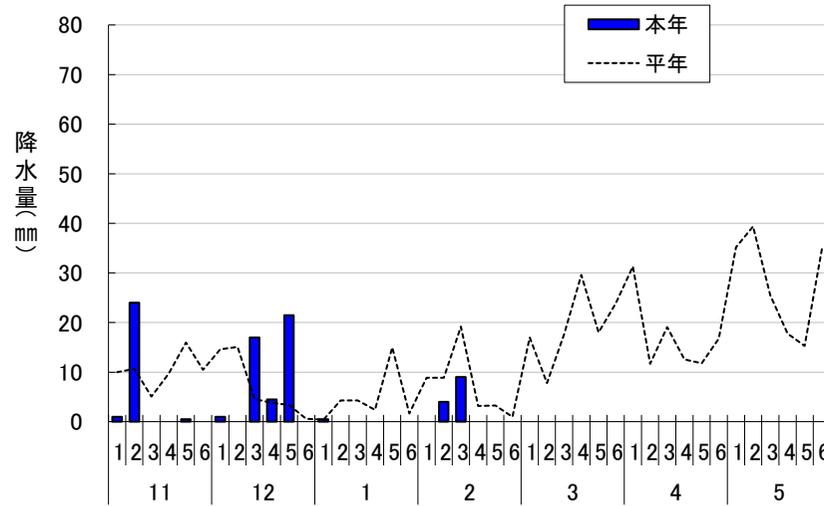


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)  
 注)水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

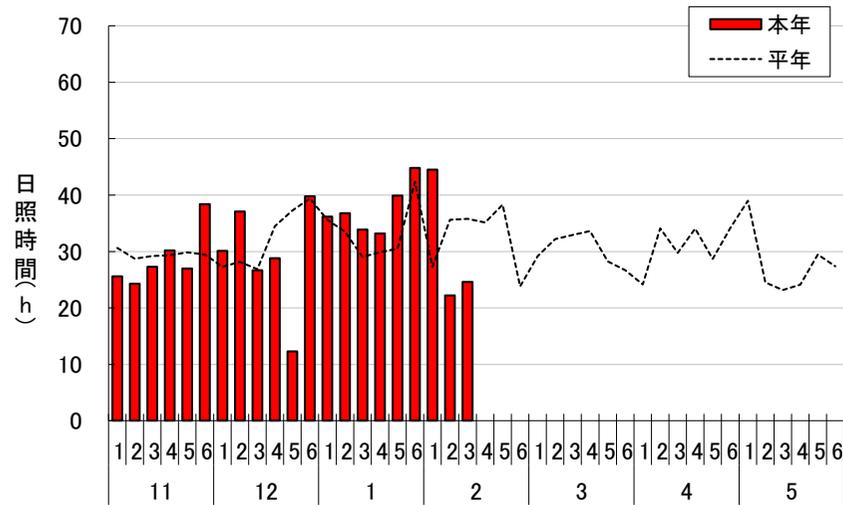


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)  
 注)水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

表1 主稈長から予測した茎立期

2026年2月19日現在

播種期 (月.日)	麦種	品種名	予測茎立期					平年差 (日)
			低温 (月.日)	やや低温 (月.日)	平年並 (月.日)	やや高温 (月.日)	高温 (月.日)	
11.14	小麦	さとのそら	3.27	3.22	3.18	3.15	3.12	2
	六条大麦	カシマムギ	3.21	3.17	3.13	3.10	3.8	6
		カシマゴール	3.15	3.11	3.8	3.6	3.4	10
	二条大麦	ミカモゴールデン	3.9	3.5	3.3	3.1	2.27	11
	裸麦	キラリモチ	3.14	3.10	3.7	3.4	3.2	8
11.20	小麦	さとのそら	4.1	3.27	3.23	3.19	3.16	1

【注釈】

- 1) 低温・やや低温・平年並・やや高温・高温は、調査日以降の平均気温が平年値より $-2^{\circ}\text{C}$ 、 $-1^{\circ}\text{C}$ 、 $\pm 0^{\circ}\text{C}$ 、 $+1^{\circ}\text{C}$ 、 $+2^{\circ}\text{C}$ で推移した場合を示す。
- 2) 平年差は、主稈長の平年値から算出した茎立期の平年値と現時点の主稈長から算出した予測茎立期または確定値との差を示す。
- 3) ミカモゴールデンの平年値は2023年播種の茎立期の確定値と2023年播種を除く過去4年の主稈長の平年値から算出した茎立期の平年値を使用。
- 4) 茎立期の予測は予測モデルを用いた。詳細は農業研究所ホームページを参照。

参考URL：<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/seiikuyosoku/mugikukidachishussuiyosoku/mugikukidachishussuiyosoku.html>

表2 輪換畑における麦類の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

2026年2月19日現在

播種期 (月.日)	麦種	品種名	主稈葉数			主稈長			主稈幼穂長		
			本年値 (枚)	平年値 (枚)	平年差 (枚)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
11.14	小麦	さとのそら	7.5	8.2	-0.7	5.1	5.8	88	1.4	1.3	108
	六条大麦	カシマムギ	6.1	7.2	-1.1	6.3	9.1	69	3.3	3.5	94
		カシマゴール	6.4	7.9	-1.5	7.6	13.5	56	3.4	4.2	81
	二条大麦	ミカモゴールデン	6.6	7.6	-1.0	8.8	20.5	43	3.3	4.9	67
11.20	裸麦	キラリモチ	7.3	8.3	-1.0	6.5	11.6	56	3.0	3.9	77
	小麦	さとのそら	6.0	7.0	-1.0	3.8	4.0	95	1.0	1.0	100

播種期 (月.日)	麦種	品種名	草丈			茎数			葉色		
			本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (本/m <sup>2</sup> )	平年値 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年値 (SPAD)	平年値 (SPAD)	平年差
11.14	小麦	さとのそら	15.6	14.7	106	1,507	2,089	72	48.3	49.0	-0.7
	六条大麦	カシマムギ	14.3	14.3	100	1,390	1,555	89	51.2	51.1	0.1
		カシマゴール	16.3	16.0	102	1,633	1,745	94	40.7	39.8	0.9
	二条大麦	ミカモゴールデン	18.1	19.5	93	2,077	2,089	99	43.1	43.2	-0.1
11.20	裸麦	キラリモチ	15.7	17.6	89	1,740	1,908	91	51.0	50.0	1.0
	小麦	さとのそら	10.9	10.9	100	1,370	1,527	90	49.6	52.3	-2.7

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換3年目（前作大豆）
- 2) 播種期：平年の播種期は11月11日、20日
- 3) 播種量：（小麦・六条）0.8kg/a、（二条）1.0kg/a
- 4) 播種様式：条間30cm、ドリル播き（シーダーテープによる）
- 5) 基肥：（小麦）N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=1.0-1.0-1.0kg/a、（六条・二条）N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.8-0.8-0.8kg/a
- 6) 麦踏み：2025年12月23日、2026年1月15日実施（11/14播種）。2026年1月5日、1月22日実施（11/20播種）。

【平年値】

2020年～2024年播種の5ヵ年の平均値

2024年播種のキラリモチは出芽不良により再播種を行ったため2019～2023年播種の5ヵ年の平均値

11/14 播種 さとのそら



11/20 播種 さとのそら



写真1 所内小麦の生育状況(左 11月14日播種、右 11月20日播種 2026年2月19日撮影)

カシمامギ



カシマゴール



ミカモゴールド



キラリモチ



写真2 所内大麦の生育状況

(左上 カシمامギ、右上 カシマゴール、左下 ミカモゴールド、右下 キラリモチ 11月14日播種 2026年2月19日撮影)

## 気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。  
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。  
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

